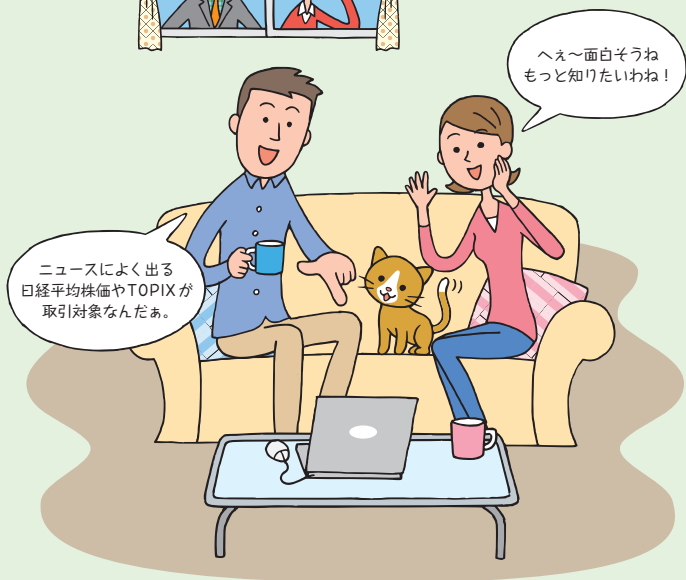


先物・オプション

かんたん 入門ガイド



株価指数とは なんでしょう？

どっちが
いいのかしら



悩む
ところだね

資金効率の高い
先物取引が
おすすめですよ。



損失が限定できる
オプション取引だって
おすすめです！



私たちがニュースなどで目にする日経平均株価やTOPIXに代表される株価指数は、証券市場だけでなく日本経済の動向を図るうえで非常に大切な指標です。

株価指数には大きく分けて、日経平均株価に代表される株価単純平均型とTOPIXに代表される時価総額加重型の2種類があります。どちらも日本経済を見る上では重要な株価指数ですが、その算出方法により利用方法や日々の動きに違いがあります。

?? 日経平均株価とは

抽象的にいえば「日本のマーケット・産業構造の動向を数字として凝縮したもの」と言えます。日本を代表する企業225社の株価を基に日本経済新聞社が算出、公表しており、株式市場だけでなく日本経済の状態を表す重要な指数として、新聞はもとより様々なメディアを通じて世界中に配信されています。

?? 東証株価指数(TOPIX)とは

TOPIX(東証株価指数)は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。昭和43年(1968年)1月4日の時価総額を100として、その後の時価総額を指数化したものであり、日本経済の動向を示す代表的な経済指標として用いられるほか、ETFなどの金融商品のベンチマークとして利用されています。

?? JPX日経インデックス400とは

株主資本が効率的に活用されているかを図る指標(ROE)や投資者を意識した経営観点など、グローバルな投資基準に求められる諸要件を満たした、「投資者にとって投資魅力の高い400社」の株価を基に日本取引所グループ、東京証券取引所及び日本経済新聞社が算出、公表しており、日本市場の新しいベンチマークとして注目されています。

?? 東証グロース市場250指数とは

東証グロース市場250指数はグロース市場に上場する国内普通株式を対象とする時価総額加重型の指数です。

日経平均株価やTOPIXが日本経済全体の動向を示す指標であるのに対し、新興企業やベンチャー企業の動向を表す重要な指標となっています。

(注)「日経平均株価」は、株式会社日本経済新聞社(以下「日本経済新聞社」という。)によって独自に開発された手法によって、算出される著作物であり、日本経済新聞社は「日経平均株価」自体及び「日経平均株価」を算出する手法に対して、著作権その他一切の知的財産権を有しています。「日経平均株価」を対象とする株価指数先物取引、および株価指数オプション取引に係る全ての事業、取引規制及び実施につきましては、専ら株式会

日経225mini、ミニTOPIX先物取引とは……

日経225miniは日経平均株価、ミニTOPIX先物取引はTOPIXを対象にした株価指数先物取引で、将来の株価指数の値を株式のように市場価格で売買できます。ただ、通常の株式投資が値上がりを待って、中・長期にわたって保有することができるのに対し、株価指数先物取引は期限までに決済しない場合、自動的に決済され取引が終了します。



日経225microとは……

日経225microは、日経225miniの魅力はそのままに、取引単位や証拠金を10分の1のサイズにした小口商品です。

日経225miniが“mini (ミニ)”と呼ばれるのに対し、日経225microは更に小さい“micro (マイクロ)”と呼ばれています。



日経225オプション取引・日経225ミニオプション取引とは……

将来の日経平均株価を特定の値段で買ったり、売ったりできる権利を売買する取引です。損失を限定しながら権利を買うことができるほか、相場が動かなくても利益が得られるなど権利を色々と組み合わせることで多様な戦略が可能です。権利を買った投資家は、満期日の日経平均株価と比較して有利な時だけ権利を使うことができます。

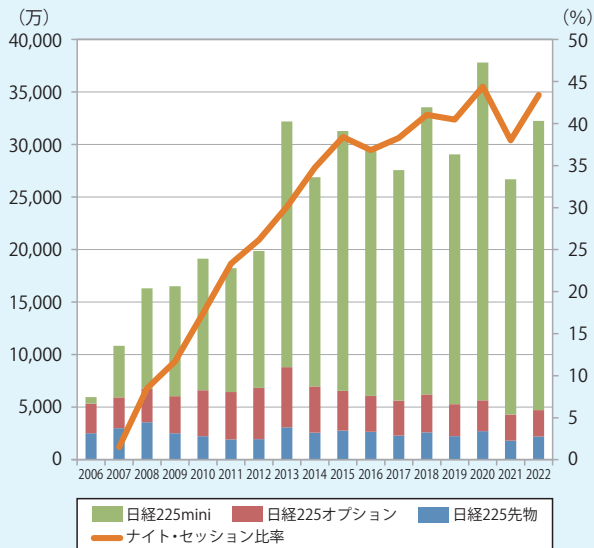


社大阪取引所及びその参加者の責任であり、それらについて日本経済新聞社は一切の義務ないし責任を負いません。日本経済新聞社は、「日経平均株価」を継続的に公表する義務を負うものではなく、公表の誤謬、遅延又は中断に関して、責任を負いません。日本経済新聞社は「日経平均株価」の構成銘柄、計算方法、その他「日経平均株価」の内容を変える権利及び公表を停止する権利を有しています。

日経225先物・オプション取引の取引状況

ナイト・セッションの比率が高水準で推移

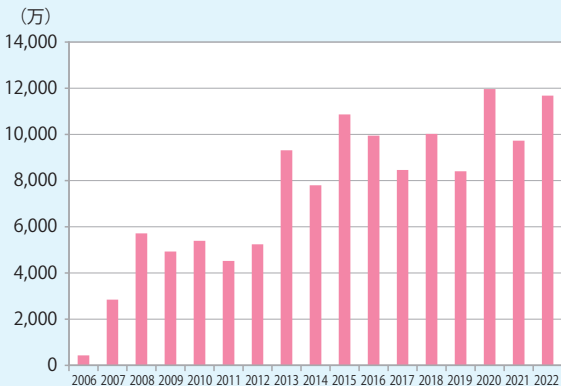
日経225先物・オプション取引高とナイト・セッション比率の推移



※ナイト・セッション（旧イブニング・セッション）は2007年9月に開始

日経225miniは個人投資家の取引高が高水準で推移

個人投資家の取引高(日経225mini)



※日経225miniは2006年7月に取引開始

リスクについて

- 先物・オプション取引の価格は、対象とする原資産や金利の変動等を原因として動きますので、これにより損失が発生する場合があります。
- オプション取引の価格は、対象となる株価指数や有価証券等の変動に比べて大きく動く傾向があるため、これにより損失が拡大する可能性があります。
- 「株価指数先物取引」と「オプション取引の売方」は、少額の証拠金でその何十倍もの額の取引ができることから、価格が予想に反して動いた場合には、当初元本（証拠金）を上回る損失が発生する場合があります。
- 「株価指数先物取引」と「オプション取引の売方」は価格の変動や代用有価証券の値下がりにより、証拠金に不足額が発生した場合には、証拠金の追加差入れが必要となります。
- 取引に異常が認められる場合には、証拠金額の引き上げや証拠金の有価証券による代用の制限等の規制措置が取られることがあります。その場合、証拠金の追加差入れや代用有価証券の差換え等が必要となる場合があります。
- 所定の時限までに証拠金を差し入れない場合には、損失を被った状態で建玉の一部又は全部を強制的に決済される場合があります。また、その決済で生じた損失についても責任を負うこととなります。
- 市場の状況によっては、意図した通りの取引ができないこともあります。例えば、市場価格が制限値幅に達したような場合には、転売又は買戻しによる決済ができない場合があります。

取引を開始する場合又は継続して行う場合には、取引の仕組みや危険性について十分な研究を行うとともに、お客様自らの資力、投資目的および投資経験等に照らして適切であると判断する場合にのみ、自己の責任において行うことが大切です。

取引の魅力

1

レバレッジ効果が働くので
少ない資金で大きな取引ができる

2

日経225miniであれば日経平均株価、
ミニTOPIX先物取引であればTOPIXが取引の対象なので
個別銘柄を選択、分析する必要がない

3

個別銘柄に投資する場合に考える必要がある企業の
倒産リスクを避けることができる

4

信用取引のような
「金利」や「貸株料」が必要ない

5

買いと同じ条件で
売りからスタートできる

[レバレッジ効果とは]

PickUp 

株式投資では10万円の株式を買うには10万円が必要ですが、先物取引では「証拠金」と呼ばれる一種の保証金を預けて取引します。

例えるならば、1万円の保証金を預けることで10万円分の取引を行ったような投資効果を生み出します。この様に「少ない資金で、大きな取引ができる」いわばテコの原理を先物取引ではレバレッジ効果といいます。

! 思惑と逆の相場になり、損失が発生すると、最初に用意した証拠金だけでは資金が足りなくなる場合もあります。その際は、損失額を証拠金として差し入れる必要があるため、十分余裕を持った証拠金差し入れを行うことが一般的です。

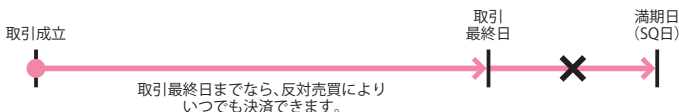
取引のしくみ

株価指数先物取引は、対象となる株価指数とほぼ同じ動きをするなど、そのしくみはシンプルです。しくみと取引方法を覚えて始めよう!!

1. 限月(げんげつ)

先物は取引できる期間が決まっています。満期月を限月(げんげつ)と呼び、各限月の第2金曜日(満期日)の前日までしか取引できません。取引最終日までに反対売買で決済しない場合は、満期日にSQ値(P.9参照)で自動的に決済され損益が確定します。日経225miniは、6月・12月の10限月と3月・9月の3限月の13限月に直近3限月(マンスリー限月(四半期限月以外の限月))を加えた16限月が取引されています。ミニTOPIX先物では、3月・6月・9月・12月のうち直近の3限月が取引されています。例えば限月が3月の先物は3月限(3がつぎり)と呼び、注文の際は限月を指定します。

満期日に決済するか
それまでに決済するか
選べるのね。



2. 取引単位(とりひきたんい)

日経225miniの取引単位は100で、先物値段を100倍した金額が1単位(1枚)の取引金額です。同様にミニTOPIXの取引単位は1000で、先物の値段を1,000倍した金額が1単位(1枚)の取引金額です。その取引金額に応じた証拠金を証券会社に預けます。注文の際は単位数(枚数)を指定します。株式と同様に成行注文、指値注文ができます。

3. 値段の刻み

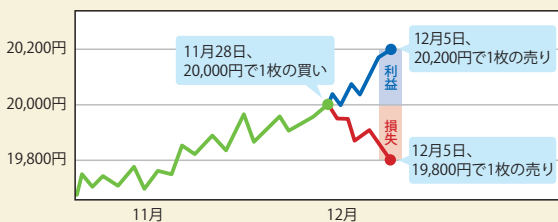
日経225miniの値段は5円刻みになっています。したがって、1値動いた時の損益は500円になります。

ミニTOPIX先物の値段の刻みは0.25ポイントとなっています。したがって1値動いた時の損益は250円になります。

損益シミュレーション1(反対売買)

取引を通して日経225miniの値段(相場)が上下するとどうなるのかみてみます。

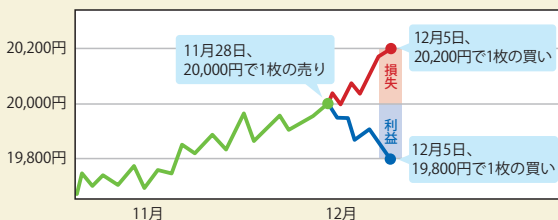
買いからスタート ▶ 転売



売った値段 買った値段 取引単位 数量
 $(20,200\text{円} - 20,000\text{円}) \times 100 \times 1\text{枚} = 20,000\text{円}$
結果、この取引で20,000円の利益になります。

$(19,800\text{円} - 20,000\text{円}) \times 100 \times 1\text{枚} = -20,000\text{円}$
結果、この取引で20,000円の損失になります。

売りからスタート ▶ 買戻し



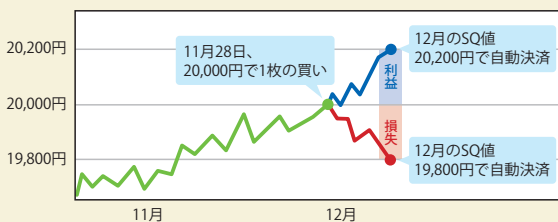
売った値段 買った値段 取引単位 数量
 $(20,000\text{円} - 19,800\text{円}) \times 100 \times 1\text{枚} = 20,000\text{円}$
結果、この取引で20,000円の利益になります。

$(20,000\text{円} - 20,200\text{円}) \times 100 \times 1\text{枚} = -20,000\text{円}$
結果、この取引で20,000円の損失になります。

損益シミュレーション2(SQ決済)

建玉を満期日(SQ日)まで決済せずに持ち越した場合にSQ値が上下するとどうなるのかみてみます。

買建玉残 ▶ SQ決済



SQ値 買った値段 取引単位 数量
(20,200円 - 20,000円) × 100 × 1枚 = 20,000円
結果、この取引で20,000円の利益になります。

(19,800円 - 20,000円) × 100 × 1枚 = -20,000円
結果、この取引で20,000円の損失になります。

売建玉残 ▶ SQ決済



売った値段 SQ値 取引単位 数量
(20,000円 - 19,800円) × 100 × 1枚 = 20,000円
結果、この取引で20,000円の利益になります。

(20,000円 - 20,200円) × 100 × 1枚 = -20,000円
結果、この取引で20,000円の損失になります。



難しい用語も
これで解決

用語講座

「SQ」を使った用語

とても重要

SQ スペシャル・クォーターションの略で、満期日の決済に用いられる最終清算数値のことです。

SQ日 満期日のことで、各限月の第2金曜日です。

SQ値 SQと同じで最終清算数値です。

SQ決済 満期日にSQ値で決済することです。

SQ (値) の算出方法

満期日の日経平均株価やTOPIXの構成銘柄の個々の始値によって計算されます。

「反対売買」とは?

当初行った取引と反対の取引を行うことです。先物取引はこの反対売買を行うことで満期日までに決済することができます。その場合、買い建てた投資家は市場で売り（転売）、売り建てた投資家は市場で買い（買戻し）を行います。

「建玉」とは?

買いまたは売りの取引が成立し、未決済のままの約定（ポジション）のことです。

「値洗い」とは?

毎日の清算数値（終値等）で持っているポジションの価値を再評価すること。証拠金の額には値洗いによる計算上の損益額が反映されるため、損失がでている場合は証拠金の追加差入れが必要な場合があります。

日経225microの魅力

「レバレッジ効果で資金効率が高い」や「売りからスタートできる」など日経225miniの魅力はそのままです……

1

取引単位は日経225miniの10分の1

▶ だから、より少額の資金のヘッジにも利用できます。

2

証拠金は日経225miniの10分の1

▶ だから、より少額の資金（証拠金）で取引に参加できます。

例えば こんなイメージ

日経平均株価が20,000円なら……

	先物の値段	取引金額 (1単位)	証拠金 (1単位)
日経225mini	20,000円	200万円	12万円
日経225micro	20,000円	20万円	1.2万円



日経225microのしくみ

日経225miniと基本的な仕組みは同じですが、次のような違いがあります。

1. 限月(げんげつ)

限月とは満期日のある月のことで、日経225microの場合3月・6月・9月・12月(四半期限月)の直近2限月に、四半期限月以外の直近2限月(マンスリー限月)を加えた、4限月が取引されています。取引は取引最終日である各限月の第2金曜日(満期日)の前日までしかできません。取引最終日までに反対売買で決済しない場合は、満期日にSQ値で自動的に決済されます。

2. 取引単位と値段の刻み

日経225microの値段を10倍した金額が取引金額です。

取引金額 = 日経225microの値段 × 10 × 枚数

また、日経225microの値段は5円刻みになっています。したがって、1値動いた時の損益は50円になります。

3. 証拠金も10分の1

取引単位は日経225miniの10分の1。このため証拠金も10分の1になります。

損益シミュレーション1(反対売買)

取引を通して日経225microの値段(相場)が上下するとどうなるのかみてみます。

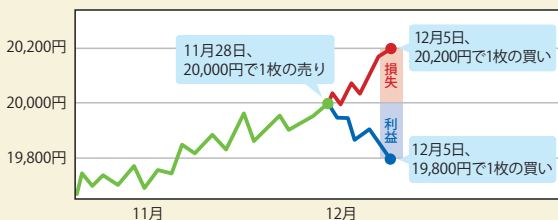
買いからスタート ▶ 転売



売った値段 買った値段 取引単位 数量
(20,200円 - 20,000円) × 10 × 1枚 = 2,000円
結果、この取引で2,000円の利益になります。

(19,800円 - 20,000円) × 10 × 1枚 = -2,000円
結果、この取引で2,000円の損失になります。

売りからスタート ▶ 買戻し



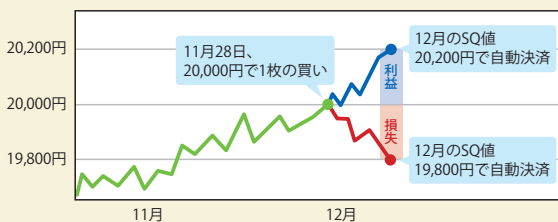
売った値段 買った値段 取引単位 数量
(20,000円 - 19,800円) × 10 × 1枚 = 2,000円
結果、この取引で2,000円の利益になります。

(20,000円 - 20,200円) × 10 × 1枚 = -2,000円
結果、この取引で2,000円の損失になります。

損益シミュレーション2 (SQ決済)

建玉 (P.9参照) を満期日 (SQ日) まで決済せずに持ち越した場合にSQ値が上下するとどうなるのかみてみます。

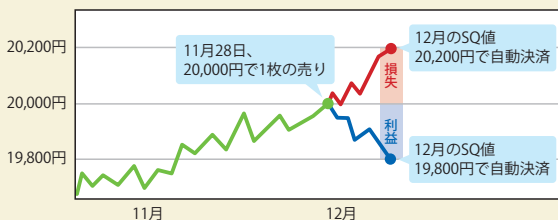
買建玉残 ▶ SQ決済



SQ値 買った値段 取引単位 数量
 $(20,200円 - 20,000円) \times 10 \times 1枚 = 2,000円$
 結果、この取引で2,000円の利益になります。

$(19,800円 - 20,000円) \times 10 \times 1枚 = -2,000円$
 結果、この取引で2,000円の損失になります。

売建玉残 ▶ SQ決済



売った値段 SQ値 取引単位 数量
 $(20,000円 - 19,800円) \times 10 \times 1枚 = 2,000円$
 結果、この取引で2,000円の利益になります。

$(20,000円 - 20,200円) \times 10 \times 1枚 = -2,000円$
 結果、この取引で2,000円の損失になります。

取引のしくみ

取引金額は、日経225miniやミニTOPIX先物に近いため、少額からの取引が可能です。

1. 限月(げんげつ)

限月は、3月・6月・9月・12月のうち直近5限月が取引されます。日経225先物やTOPIX先物と同様に、取引最終日までに反対売買で決済しない場合は、満期日にSQ値で自動的に決済され損益が確定します。

2. 取引単位

JPX日経インデックス400先物の値段を100倍した金額、東証グロース市場250指数先物の値段を1,000倍した金額がそれぞれの取引金額です。

取引金額 = JPX日経インデックス400先物の値段 × 100 × 枚数

取引金額 = 東証グロース市場250指数先物の値段 × 1,000 × 枚数

3. 値段の刻み

JPX日経インデックス400先物の値段は5ポイント刻みとなっています。東証グロース市場250指数先物の値段は1ポイント刻みとなっています。

したがって1値動いた時の損益はJPX日経インデックス400先物が500円、東証グロース市場250指数先物が1,000円になります。

取引の魅力

1

少額の資金から利用可能

オプションの買い手は、プレミアムの金額だけで（売り手は証拠金だけで）取引を行うことができ、少額の資金から参加できます。

2

損失を限定しながら利益を追求

オプションの買い手は、損失をオプション買付けのために支払ったプレミアムの金額だけに限定できる一方で、利益は制限なしに追求できます。

3

様々な投資戦略が可能

コールとプットの組合せや、日経225mini、日経225microなどを組み合わせることにより、多種多様な投資戦略が可能となります。

4

資金運用の効率アップ

オプションの売り手は、買い手から受け取ったプレミアム収入により、資金運用の効率を高めることができます。



取引のしくみ

1. 銘柄構成

オプションの銘柄は次の3つの項目の組合せで構成されます。

① 限月

先物取引と同じく満期日のある月のこと。日経225オプションでは6月・12月の16限月と3月・9月の3限月に加えてそれ以外の直近8限月の計27限が取引されています。

また、日経225ミニオプションでは、直近の3限月と各週の金曜日（第二金曜を除く）を満期日とするWeeklyオプションが直近4限月で取引されています。

例えば限月が3月のオプションは3月限（3がつぎり）と呼び、注文の際には限月を指定します。

② 権利行使価格

満期日に買い手が日経平均株価を売ったり、買ったりできる価格です。

③ コール・プット

コールは満期日の日経平均株価を権利行使価格で買う権利、プットは反対に売る権利です。

日経225オプション／ 日経225ミニオプション取引

日経225ミニオプションの例

銘柄 6月限 権利行使価格20,000円のコール
6月の満期日に日経平均株価（日経225）を
20,000円で**買う権利**

銘柄 6月限 権利行使価格20,000円のプット
6月の満期日に日経平均株価（日経225）を
20,000円で**売る権利**

	コールorプット	限月	権利行使価格	プレミアム
日経225ミニ オプション銘柄の 構成銘柄	コール	6月第1週限	20,000円	〇〇〇円 ⋮
		6月限		
		6月第3週限		
		6月第4週限		
		7月第1週限		
		7月限		
		8月限		
	プット	6月第1週限	20,000円	〇〇〇円 ⋮
		6月限		
		6月第3週限		
		6月第4週限		
		7月第1週限		
		7月限		
		8月限		

[プレミアムについて]



プレミアムはオプションの取得料です。その価格は通常の株式の同じように需給関係で決まりますが、日経平均株価やTOPIXの動き、満期日までの残りの日数などに影響されます。

2. 取引金額

売買したい日経225オプションの銘柄のプレミアムを1,000倍した金額が、最低取引単位となる1単位（1枚）の取引金額です。日経225ミニオプションについては100倍した金額が最低取引単位となる1単位（1枚）の取引金額です。

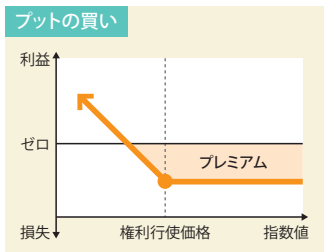
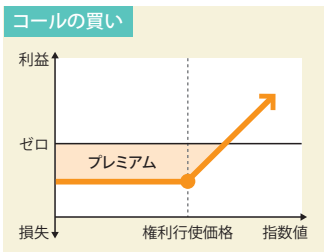
3. 売り手のみ証拠金が必要

売り手は相場が予想に反して動いた場合、損失が大きく膨らむ可能性があるため、証拠金を証券会社に預けなければなりません。買い手は、代金を支払うことになります。

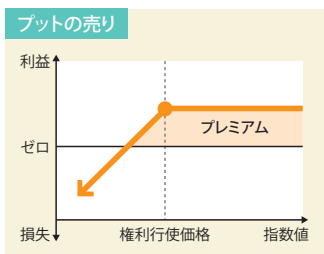
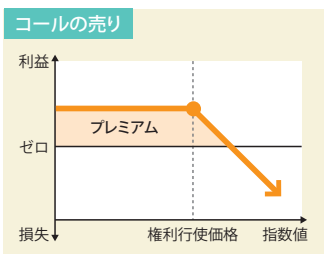
4. 権利行使日は満期日(SQ日)のみ

株価指数オプションの権利行使は満期日（各限月の第2金曜日。ただし、Weeklyオプションは各限月の金曜日（第2金曜日は除く。）のSQ値により自動的に行われます。

オプション取引基本4パターン



オプションの買い手は予想が外れても、損失はプレミアムのみに限定されます。



オプションの売り手は予想が外れると、損失が無限に拡大していきます。

		損益分岐点	利益	損失
コール	買	権利行使価格+プレミアム	無限	プレミアム
	売	権利行使価格+プレミアム	プレミアム	無限
プット	買	権利行使価格-プレミアム	無限	プレミアム
	売	権利行使価格-プレミアム	プレミアム	無限

株価指数オプション取引の決済

反対売買・権利行使・権利放棄の3つがあります。

取引期間は満期日(各限月の第2金曜日。ただし、Weeklyオプションは各限月の金曜日(第2金曜日は除く))の前日までです。

日経225ミニオプションの例

1. 反対売買

取引最終日までならいつでも、反対の売買をすることにより損益を確定させることができます。つまり、オプションの買い手は市場で売ることにより、オプションの売り手は市場で買うことにより決済することができます。

プレミアム50円で1単位(枚)買い、そのオプションを100円で転売し、5千円の利益となった。

$$\begin{array}{cccccc} \text{売った値段} & \text{買った値段} & \text{取引単位} & \text{枚数} & & \text{利益} \\ (100円 - 50円) & \times & 100 & \times & 1枚 & = & 5,000円 \end{array}$$

反対に、プレミアム50円で1単位(枚)売り、そのオプションを100円で買い戻し、5千円の損失となった。

$$\begin{array}{cccccc} \text{売った値段} & \text{買った値段} & \text{取引単位} & \text{枚数} & & \text{損失} \\ (50円 - 100円) & \times & 100 & \times & 1枚 & = & -5,000円 \end{array}$$

日経225オプション／ 日経225ミニオプション取引

2. 権利行使(SQ決済)

買い手は、権利行使により利益になる時には自動的に行使されます(ただし、支払ったプレミアムがコスト)。逆に、売り手は権利を行使されると応える義務があります。

権利行使の例(買い手)

権利行使価格20,000円のコール(20,000円で買う権利)をプレミアム100円で1単位(枚)買い、SQが20,300円になった。

$$(20,300円 - 20,000円) \times 100 \times 1枚 = 30,000円$$

$$\text{支払いプレミアム} : 100円 \times 100 \times 1枚 = 10,000円$$

$$(30,000円 - 10,000円 = 20,000円の利益)$$

権利行使価格20,000円のプット(20,000円で売る権利)をプレミアム100円で1単位(枚)買い、SQが19,700円になった。

$$(20,000円 - 19,700円) \times 100 \times 1枚 = 30,000円$$

$$\text{支払いプレミアム} : 100円 \times 100 \times 1枚 = 10,000円$$

$$(30,000円 - 10,000円 = 20,000円の利益)$$

権利を行使した場合、権利行使価格とSQ値の差額から支払ったプレミアム分を差し引いた額が損益になります。

権利行使の例(売り手)

権利行使価格20,000円のコール(20,000円で買う権利)をプレミアム100円で1単位(枚)売り、SQ値が20,300円になった。

$$(20,000円 - 20,300円) \times 100 \times 1枚 = -30,000円$$

$$\text{受取プレミアム} : 100円 \times 100 \times 1枚 = 10,000円$$

$$(-30,000円 + 10,000円 = -20,000円の損失)$$

権利行使価格20,000円のプット(20,000円で売る権利)をプレミアム100円で1単位(枚)売り、SQ値が19,700円になった。

$$(19,700円 - 20,000円) \times 100 \times 1枚 = -30,000円$$

$$\text{受取プレミアム} : 100円 \times 100 \times 1枚 = 10,000円$$

$$(-30,000円 + 10,000円 = -20,000円の損失)$$

売り手は権利行使価格とSQ値との差額から取得したプレミアム分を差し引いた額が損益となります。

3. 権利放棄(権利消滅)

買い手は、権利を行使しても利益にならない時には、権利を放棄することができます(ただし、支払ったプレミアムが損失)。売り手は、買い手が権利を放棄した場合、売った時のプレミアムが利益として確定します。

権利放棄の例

権利行使価格20,000円のコール(20,000円で買う権利)をプレミアム100円で1単位(枚)買い、SQ値が19,600円になった。

買い手は、当初支払ったプレミアム100円分が損失となります。
($100円 \times 100 \times 1枚 = 10,000円$ の損失)

売り手は、当初受取ったプレミアム100円分が利益になります。
($100円 \times 100 \times 1枚 = 10,000円$)

難しい用語も
これで解決

用語講座



「ITM・ATM・OTM」とは?

株価指数オプション取引は株価指数と権利行使価格の関係で最終的に利益になるかどうかが決まります。現在、利益がでている状態(コール: 権利行使価格<株価指数、プット: 権利行使価格>株価指数)をITM(イン・ザ・マネー)と呼びます。また、利益にならない状態(コール: 権利行使価格>株価指数、プット: 権利行使価格<株価指数)をOTM(アウト・オブ・ザ・マネー)と呼びます。損益が発生しない状態(権利行使価格=株価指数)もしくは現在の株価指数の水準と一番近い権利行使価格をATM(アット・ザ・マネー)と呼びます。

「ボラティリティ」とは?

原資産(日経平均株価やTOPIX)の価格変動の大きさです。過去のデータから算出するHV(ヒストリカル・ボラティリティ)とオプションのプレミアムから逆算して求めるIV(インプライド・ボラティリティ)があります。ボラティリティが高くなるほど、値動きに対する期待も高まるので、プレミアムは上昇します。

有価証券オプション取引

有価証券オプション(かぶオプ)とは？

「有価証券オプション(かぶオプ)」とは、ソニーやトヨタ自動車などの個別株、上場投資信託(ETF)、不動産投資信託(REIT)といった有価証券を対象としたオプションのことです。オプションの対象となっている有価証券のことを原資産といい、基礎商品、原商品などとも呼ばれます。

かぶオプ = 株券などを対象としたオプション取引のこと

投資戦略

かぶオプの場合、コールオプションとプットオプションを組み合わせるなどすれば、様々な取引手法が可能となりますので、投資戦略は単純なものから複雑なものまで多数存在します。以下では、比較的ポピュラーな投資戦略を中心に説明します。

① プロテクティブ・プット(通称:かぶ保険)

かぶ保険 = 株式保有 + プットオプションの買い

- 『かぶ保険』は、保有している株式の数量に相当するプットオプションを購入する戦略です。
- 株価下落時に損失を抑えることができます。

こんな方に **オススメ!**

- ▶ 株式を保有中で、株価の下落が心配

② コールオプション or プットオプションの買い (通称：かぶレバ)

かぶレバ = コール or プットの買い

- 相場状況により、少ない投資資金で大きな利益を出すことができます。
- オプション料以上の損失が出ることはありませんので、損失を限定できます。
- 株価が下落傾向でも利益を出すことができます。

こんな方に **オススメ!**

- ▶ 買いたい株の単元単価が高くて手が届かない
- ▶ 少ない資金を効率よく運用したい
- ▶ 高レバレッジを維持しながら、損失も限定させたい

③ カバード・コール (カバコ)

カバコ = 株式保有 + コールオプションの売り

- 『カバコ』は、保有している株式の数量に相当するコールオプションを売却するだけです。
- オプション売却代金による収益が得られます。

こんな方に **オススメ!**

- ▶ 株式を保有中。目標価格まで上がれば売っても良い
- ▶ 保有株式が含み損となっており、塩漬け状態
- ▶ 配当以上に株式保有の利回りを高めたい

有価証券オプション取引

カバコ取引の収益パターン（コールオプション満期日）

CASE1 相場停滞 or 下落時

株価が権利行使価格1,200円を上回らなかった場合
(=満期時株価<権利行使価格の場合)

保有株式は手元に残る

+

オプション売却料が
収益として確定

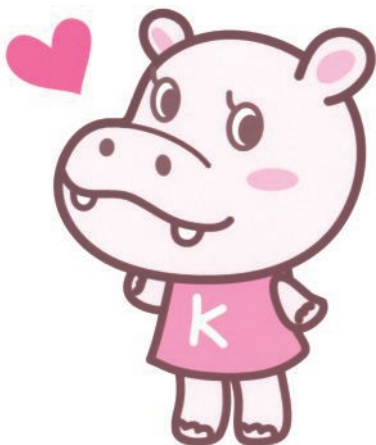
CASE2 相場上昇時

株価が権利行使価格1,200円を上回った場合
(=満期時株価>権利行使価格の場合)

目標価格で株式売却

+

オプション売却料も
収益に



「かば子」とは・・・??

有価証券オプション(愛称:かぶオプ)を世に広めるため
活躍中のかぶオプ公式キャラクター

証拠金とは

証拠金は取引で損失が発生した場合でも決済できるように預けておく保証金です。証拠金所要額はVaR方式で計算した額以上とします。

※証拠金所要額は日本証券クリアリング機構が定める最低基準であり、実際の額は各証券会社が定めます。

証拠金の特徴

- 1 証拠金の額は取引の内容により異なります。
- 2 日経225miniとミニTOPIX先物等、商品間のリスクを相殺できます。
- 3 日経平均株価やTOPIXの変動の大きさによって日々、額が見直されます。
- 4 取引を日々の時価で評価し直し(値洗い)、証拠金の額に計算上の損益額を反映します。
- 5 有価証券による代用も可能ですが、一部は現金で差し入れる必要があります。
※代用の取扱いは証券会社により異なります

[VaR方式とは]



日本証券クリアリング機構が先物・オプション取引に係る証拠金所要額を計算する際に用いる計算方式です。過去のマーケットデータ等を用いてポートフォリオの損益額をシミュレーションすることで所要額を計算します。

取引制度概要

日経225mini

限 月	6月・12月の10限月、 3月・9月の3限月に加え、 それ以外の直近3限月の計16限月
取引単位	日経225miniの値段×100
値段の刻み	5円
取引時間	日中立会 8:45~15:15 ナイト・セッション 16:30~翌6:00
取引最終日	各限月の第2金曜日の前日
最終決済	各限月の第2金曜日にSQ値で決済
証拠金	売り手・買い手ともに必要

日経225micro

限 月	3月・6月・9月・12月の直近2限月に加え、 それ以外の直近2限月の計4限月
取引単位	日経225microの値段×10
値段の刻み	5円
取引時間	日中立会 8:45~15:15 ナイト・セッション 16:30~翌6:00
取引最終日	各限月の第2金曜日の前日
最終決済	各限月の第2金曜日にSQ値で決済
証拠金	売り手・買い手ともに必要

ミニTOPIX先物

限 月	3月・6月・9月・12月の直近3限月
取引単位	ミニTOPIX先物の値段×1,000
値段の刻み	0.25ポイント
取引時間	日中立会 8:45~15:15 ナイト・セッション 16:30~翌6:00
取引最終日	各限月の第2金曜日の前日
最終決済	各限月の第2金曜日にSQ値で決済
証拠金	売り手・買い手ともに必要

日経225オプション

限 月	6月・12月の16限月と3月・9月の3限月の19限月に 加えてそれ以外の直近8限月の計27限月
取引単位	日経225オプションの 値段×1,000
値段の刻み	100円以下=1円 100円超=5円
取引時間	日中立会 8:45~15:15 ナイト・セッション 16:30~翌6:00
取引最終日	各限月の第2金曜日の前日
最終決済	各限月の第2金曜日に SQ値で決済
証拠金	売り手のみ必要 (買い手は取引代金)

日経225ミニオプション

限 月	直近の3限月と直近の4週次設定限月 (Weeklyオプション)の計7限月
取引単位	日経225ミニオプションの 値段×100
値段の刻み	100円以下=1円 100円超=5円
取引時間	日中立会 8:45~15:15 ナイト・セッション 16:30~翌6:00
取引最終日	各限月の第2金曜日の前日
最終決済	各限月の第2金曜日に SQ値で決済
証拠金	売り手のみ必要 (買い手は取引代金)

取引制度概要

JPX日経インデックス400先物

限 月	3月・6月・9月・12月の直近5限月
取引単位	先物の値段×100
値段の刻み	5ポイント
取引時間	日中立会 8:45~15:15 ナイト・セッション 16:30~翌6:00
取引最終日	各限月の第2金曜日の前日
最終決済	各限月の第2金曜日にSQ値で決済
証拠金	売り手・買い手ともに必要

東証グロース市場250指数先物

限 月	3月・6月・9月・12月の直近5限月
取引単位	先物の値段×1,000
値段の刻み	1ポイント
取引時間	日中立会 8:45~15:15 ナイト・セッション 16:30~翌6:00
取引最終日	各限月の第2金曜日の前日
最終決済	各限月の第2金曜日にSQ値で決済
証拠金	売り手・買い手ともに必要

有価証券オプション(かぶオプ)

限 月	直近2限月に加えてそれ以外の 3月・6月・9月・12月の直近2限月の計4限月
取 引 単 位	対象有価証券の売買単位に係る数量
値段の刻み	50円未満=0.1円 50円以上~1,000円未満=0.5円 1,000円以上~3,000円未満=1円 3,000円以上~30,000円未満=5円 30,000円以上~50,000円未満=25円 50,000円以上~100,000円未満=50円 100,000円以上~1,000,000円未満=500円 1,000,000円以上=5,000円
取 引 時 間	前場 9:00~11:35 後場 12:30~15:15
取引最終日	各限月の第2金曜日の前日
最 終 決 済	取引最終日から起算して原則4日目(配当落又は権利落日の前日に行われた権利行使に係る決済は、取引最終日から起算して3日目)に 有価証券の売買が成立(受渡決済)
証 抛 金	売り手のみ必要 (買い手は取引代金)

金融商品取引業者等利用欄

お問い合わせ

株式会社 大阪取引所（代表）

TEL：06-4706-0800

本出版物は、先物・オプション取引の説明を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。株式会社大阪取引所は、本出版物の記載内容については万全を期しておりますが、お客様が本出版物の記載内容に基づいて行われる取引その他の行為及びその結果について、何ら責任を負うものではありません。本出版物は著作権法によって保護されており、株式会社大阪取引所に無断で転用、複製又は販売等を行うことは固く禁じます。